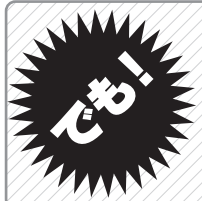


【東八幡キリスト教会】

軒の教会新聞

コロナのため…

11月23日のバザーは中止です…



ガレージセール開催 します! 売切御免!

10月12日~17日
[10時~15時閉店]

今年にはコロナのため、11月23日の教会バザーは中止となりました。そのかわりに
10月12日(月)~17日(土) [10時開店~15時閉店]
教会の駐車場でガレージセールを行います!

例年のバザーのように品物は多くはありませんが、何か掘り出し物があるかも?! 古着、雑貨、家具、古本、グリーンコープから提供いただく野菜・果物等も販売する予定です。食品はありません。感染予防のため、マスクの着用をお願いします。入口で消毒、検温を行います。人数制限のため、お待ちいただくことがあります。ご了承ください。買い物バッグの持参にご協力いただけると幸いです。売り切れの場合、17日より早く終わるかもしれません。心配な時はお電話ください。

今年が残念ながら品物を
受け付けることができません…



バザーは、毎年主旨に賛同くださる多くの方々のご厚意によって支えられています。今年も残念ながらバザーが開催できないため、受け付けができません。来年度以降、またバザーができるようになりましたら、提供をお願いします。その時はまた皆さんに呼び掛けたいと思いますので、それまでぜひ品物を集めておいていただけると幸いです。コロナが早く終息しますように!

HIGASHIYAHATA
東八幡キリスト教会
〒805-0015
北九州市八幡東区荒生田
2丁目1番40

電話/FAX
093(651)6669
higashiyahata.ch.1955@nifty.com

HP
https://higashiyahata.info/
東八幡キリスト教会 検索

牧師 協働牧師
奥田 知志 藤田 英彦
石橋 誠一 森松 長生



北海道からの配信を教会と一緒に!
さわ ともえ 10月3日(土) 14時
沢 知恵 [13時半開場]

オンラインチャリティーコンサート

今年もやります! 沢知恵コンサート!
今回は、オンライン配信のライブビューイングで! 札幌バプテスト教会で行われるライブの様を、東八幡教会の大型スクリーンと素晴らしい音響空間で楽しみたいと思います。

ご予約は電話もしくはメールにて
要予約 お名前・ご連絡先をお知らせください。
☎ 093-651-6669
✉ higashiyahata.ch.1955@nifty.com

入場無料 カンパあり
NPO 抱襟に捧げます



奥田知志 10月3日(土) 18時 トークライブ

ゲスト NHK エグゼクティブ・ディレクター 吉崎 健氏

教会に直接来ることのできない方もつながりたいと考えて数年前に開設したインターネット会員サイト「星の下」。この6月にリニューアルオープン! 会員限定プログラムをネットで放送するなどしてきました。今回はその特別プログラムを一般公開! ゲストにNHK エグゼクティブ・ディレクターの吉崎健氏をお迎えし、吉崎氏が取材に来られた時の礼拝宣教「隠れたる神一神無き世を生きるために」を巡って、奥田牧師と対談をしていただきます。

視聴 URL 等、詳しくは教会ホームページをご覧ください。会場にて観覧を希望される方は、教会までお問い合わせください。

今後の東八幡キリスト教会
【十月】行事予定

ご注文受付中です!
今年もやります! とれたて新米!
毎年大好評の新米を今年もどうぞ!
れんげ米 5kg 2,500円 (配達無料)
数に限りあり。お早めにお申し込みを。



電話/FAX
093-651-6669

牧師エッセイ

「コロナ時代を生きるための信仰」

牧師 奥田知志

志村けんさんや岡江久美子さんの死は衝撃だった。報道の中で私が最も心を揺さぶられたのは「看取ること」、「弔うこと」が出来なかったという現実だった。遺体は「感染防止」のため火葬され、遺骨として家族のもとに戻ったという。遺体からの感染リスクを勘案した結果だという。通常

「墓地、埋葬等に関する法律」によって、死後二四時間以内の埋葬や火葬が禁じられているが、感染症患者の場合は二四時間以内に火葬することとなる。遺体そのものからの感染リスクや濃厚接触者である家族が参列するリスクが想定され葬儀が出来ない事態となっている。最近では、葬儀参列者数が減少傾向にあり、コロナはそれに拍車をかけている。イタリアでは、感染者らの臨終の際、祝福を与えた司祭が少なくとも五十人亡くなり、政府が結婚式や葬儀を禁じたという。

コロナの時代とは何か。それは「弔ってやれない」こと意味する。野宿時代「暈の上で死にたい」と言っていた方がアパートに入った後、「俺の最期は誰が看取ってくれるだろうか」とつぶやかれた。経済的困窮を脱しても「孤立」が解消されないのが問題だった。ゆえに、私達は「ひとりにならない」という支援を展開してきた。「僕が先に死んだら僕のお葬式に出ること。あなたが先に逝ったら僕がお葬式をします」。入居の日、必ず交わす約束だ。コロナ時代を生きる私達は、この約束を果たすことが出来なくなりつつある。「看取る」「弔う」は、人間固有の行為であり「人であること」に関わる事柄だ。コロナとの闘いは感染防止と共に、この最も人間的行為が出来ない中で、いかにして私達が「人

であり続けることが出来るか」という闘いでもある。どうしたものか。技術を駆使して感染防止を徹底し葬儀をすることもいずれ可能になると思うが、もっと本質的なことが大切だと思う。つまり「信じること」だ。

「看取り」や「弔い」と並ぶ人間固有のもの。それは「信仰」である。私達には、信じる事が許されている。最も一緒にいてあげたい時に一緒にいてやれない。「たった独りで逝かせてしまった」という罪悪感が私達を苦しめる。そんな私達にイエスは言う。「見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいる」(マタイ二八章)。私は、この言葉

を信じる。

旧約聖書はヘブル語で書かれているが、ヘブル語で「ことば」は「ダーバル」という。だが「ダーバル」には「出来事」という意味もある。天地創造(創世記)において神が「光あれ」とことばを発すると「光」が生まれる。ことばは現実となる。「終りまで共にいる」も実行された現実である。彼は、彼女は、あの日、独りぼっちでは決してなかったのだ。イエスが共にいてくださった。それが聖書の告げる現実なのだ。あなたは信じるか。私は信じる。人は独りでは生きることが死ぬことも出来ないから。

私達はコロナの時代を生きている。人と会えない日々が続く。愛する者を看取することも弔うことも出来ない。しかし、それでも私達は孤立しない。見捨てられない。私達が人として生き、人として死んでいくために「終りまで共にいる方」を信じたいと思う。

(二〇二〇年五月三日 東八幡キリスト教会週報巻頭言より)

礼拝案内

開始は日曜日 11時です

礼拝動画ウェブ配信案内

教会に来ることができない方のためにYouTubeでのライブ配信を行っています。



<https://www.youtube.com/c/hoshinoshita/live>



You Tube チャンネル登録

ユーチューブチャンネル登録されますと礼拝開始時にお知らせが届きます。

教会礼拝

教会の礼拝へはどなたでも来ていただけます。

東八幡キリスト教会は感染防止対策を行って、緊急事態宣言の間も礼拝は休まず続けてきました。マスク着用、手洗い、受付で消毒と検温(37度以上の方はご遠慮いただいています)密を避け、礼拝時間を短縮して行っています。

